に2人が亡くなっている。

振り込め詐欺の被害も本年は7月末までに、既に11件、3930万円の被害が発生しており、被害の防止対策として、青色防犯パトロールカーや防災行政無線などで注意喚起の呼びかけや、行田警察署と合同で振り込め詐欺撲滅キャンペーンなどを開催し、注意情報の発信や呼びかけに積極的に取り組んでいる。

## 地球温暖化

### 地球環境を守る 温室効果ガス排出量削減対策

松本 安夫（黎明21）

**問** 本市は、温室効果ガス削減に向け、市内事業者にどのような対策を求めているのか。

**答** 市内事業者に対しては、具体的な削減目標値は求めていない。

**問** 県は規模の大きい581事業所に産業系で6％、業務系で8％の排出量削減を求めており、8割の事業所が達成するなど大きな成果を上げている。県がフォローできない中小事業者に対し削減を求めるのが市の責務と考えるが。

**答** 検討はしており、順次指導という形で取り組んでいくような内容を考えている。

しかし、県のように条例化は難しい状況である。

**問** 環境配慮に関する市民アンケート調査結果では、市民の環境に関する関心は低いが、意識向上に向けた取り組みは。

**答** 市報やホームページの掲載内容を充実するほか、環境関連のイベントを開催するなど様々な機会を通じて環境意識の向上を図っている。今後とも関係機関と連携して積極的な普及啓発に努めていく。

**●市税等の収納業務について**

**問** 高額年金受給者や給与所得のある年金受給者の滞納が増加している。本市には安易に滞納を起こさせてしまう土壌があるのか。

**答** 滞納となる原因はさまざまであると考えられるが、税の公平性の観点からも滞納を放置しておくことはできない。今後も、催告や差し押さえを積み重ね、税収確保に努めていく。

**問** 滞納は、決して得とはならない。高利率の延滞金や差押え等、もっと周知する必要があるのではないか。

**答** 滞納すれば損をするという内容ではなく、高額年金受給者も含めて滞納している方に対しては納税をお願いしている。滞納に対しては、鋭意徴収の努力を行っていく。

## 平和行政

### 読みやすい「戦争体験談」（後編）の発行を

栗原 一郎（共産党）

**問** 「戦争体験談」の冊子は既に発行しているが、文章だけではなく、もっと読みやすいものにしてはどうか。また、続編を発行する考えは。

**答** 戦争体験者から当時のことを聞き取り、記録集（続編）を今年度中に作成する予定であり、当時の市内の様子や生活状況を知ることのできる写真なども掲載し、分かりやすいものにしたい。

**●「いきいきサロン事業」**

**問** 高齢者の地域活動として「いきいきサロン事業」が市内各地域で展開されている。この活動の場となる集会所等の施設の整備、世代間交流などサロン事業の豊かな展開についての考えは。

**答** 活動拠点としての集会所施設の改修については、補助基準に該当すれば活用できる。

また、サロンの活動は参加者が自ら決めるものとなっており、活動内容がさらに充実するよう社協とともに、今後も支援に努めたい。なお、サロンへの補助は平成24年度より、社協が行っている。

馬見塚いきいきサロン事業

**●補助金における「無駄」**

**問** 同和運動団体の活動に参加した構成員に、市が日当を支出する。なぜ、日当が必要なのか。支出し続ける市の責任が問われる。日当が無ければ活動できないのか。社会常識として、人権に対する認識が深まり、「日当が無くてもやっていける」、恐らく関係者はそう思っていると思う。行政がそういう卑劣な見方をしているのではないか。また、特別な要綱を廃止し、日当を廃止すべきと考えるがどうか。

**答** 市では、これまで人権問題の解決に向けて各種人権施策に取り組んできた。同和問題の早期解決のため、運動団体が行う啓発事業や研修会の取り組みに対し、日当を含む補助金を交付しており、人権意識の向上などが図れると認識している。

## 子育て支援

### 子ども医療費の無料化は高校卒業するまで拡大を

大久保 忠（日本共産党）

**問** 子育て支援計画策定に伴う市民ニーズ調査では、「市に対する子育ての環境や支援への満足度」との問いに「満足度が低い」、「やや低い」が「満足度が高い」などより多くなっている。市長は、子育てナンバーワンのまちづくりを目指すとしているが、この結果をどう認識しているか。

**答** 調査結果を真摯に受け止